

北区の部屋だより

第76号

2015年11月



刊行物登録番号 26-2-057

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 27 年 11 月発行

北区こぼれ話 第75回

華族の東北線 VS 官僚の埼京線



まずは、明治 16 年（1883）7 月、工部省の井上勝^{まさる}鉄道局長の名で作成された「東京高崎間鉄道建築事業報告書」の一部をご覧ください。「工事監査を職任とする我省の諭達^{ごんたつ}并に拙官^{せつくわん}の解説も馬耳風の聴^{ちやう}を為す如きあらは於^{せいふにおいて}政府は之を如何処分せらるへき歟、其保護の点に向て多少斟酌せられざるを得ざる儀と存候」(『工部省記録鉄道之部』第七冊、国鉄)。馬耳風とは、馬耳東風と同じく「馬の耳に念仏」ということです。現代語訳すれば「工事の監査を任務とする我が省の指導や私の解説に対し馬耳東風と聞き流すならば、政府はこの会社をいかに処分すべきだろうか。その会社の保護については多少加減しないわけにいかないことと思う」となります。公文書としては異例の感情的表現です。

井上局長を激怒させたのは、日本鉄道という会社でした。明治 16 年（1883）7 月 28 日、日本鉄道は、上野始発、熊谷までのルートを開通させました（このとき王子駅開業）。当初計画に定められていたのは、これではなく、品川から新宿を経て赤羽へ至るルートでした。日本鉄道は、この新宿ルート^{しんしやく}の建設には消極的だったのです。井上局長は、そのことに対して冒頭の一文のように激怒しました。

日本鉄道の出資者は、華族たち（旧大名家など）でした。没落しつつある華族に対し早急^{さつききゅう}に利益を還元するため、容易に建設できる上野起点のルートを開通させました。平坦で、距離も短いからです。上野から赤羽に向かう路線は、最初、中山道鉄道^{なかせんどう}と呼ばれ、現在は東北線（高崎線）という名前になっています。

一方、井上局長は、新宿経由の着工にこだわりました。起伏が多く、距離も長いルートではあるものの、新橋—横浜間の国有鉄道に接続させ、上信越地方の生糸をスムーズに横浜に運ぶことができるためです。日本鉄道では、その後、井上局長の意向に従い新宿ルートの工事を進め、明治 18 年（1885）3 月 1 日品川—赤羽間を開通させました（赤羽駅・板橋駅開業）。このルートは、最初、品川線という名前でした。のちに山手線、さらに池袋—赤羽間が赤羽線となり、現在は、ほぼ埼京線の一部となっています。官僚が、生糸輸送の効率を重視し推進した路線と言えます。

なぜ、都心方面から赤羽に向けて、東北線と埼京線の二つの路線があるのか、質問を受けることがあります。日本鉄道は、華族救済と生糸輸送という二つの使命を持っていました。華族たちが建設させたのが上野ルートで、官僚が建設されたのが新宿ルートというのが、一つの答えです。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】

赤羽付近（昭和戦前期）右が赤羽線の電車、中央が非電化の東北線、左奥が京浜東北線。



今月の展示



テーマ：用水跡を歩く ～ねむらようすい根村用水

期間：平成27年10月23日（金）～11月25日（水）

場所：「北区の部屋」展示コーナー

農業生産が生活の中心だったかつての村々にとって、用水の確保は最も重要な関心事でした。今回の展示では、こうした用水のうち、特に板橋宿の根村ねむらで分派した「根村用水」に注目して紹介します。

今月の講演会



公開歴史講座
70年前の戦争そして占領 —区民の記録と軍の記録—

戦争中や占領下に、家庭や疎開先工場などで書かれた日記や手紙。軍が残した公文書。それらの史料から、北区民にとっての昭和史を読み解きます。

日時：11月28日（土）午後2時から4時

場所：中央図書館 3階ホール

講師：黒川徳男地域資料専門員（日本近代史研究家）

定員：50名（中学生以上）（抽選）

区内在住、在勤優先

締切：11月10日（火）必着



申込方法：往復はがきに、講座名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、年齢、電話番号（Fax番号）在勤の方は、勤務先名称・住所、返信面に住所、氏名を記入して、下記へお送りください。

〒114-0033 北区十条台1-2-5

北区立中央図書館 事業係

電話 03-5993-1125 Fax03-5993-1044

「北区の部屋」で 『北区勢要覧』を販売します！

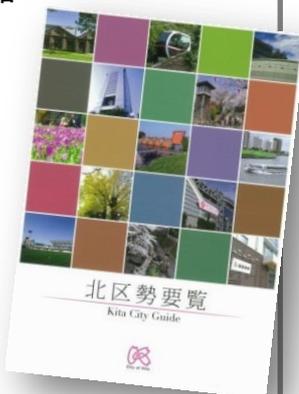


本年10月に『北区勢要覧』（広報課編集）が発行されました。北区の政策や魅力がわかりやすく紹介されています。

11月1日からは中央図書館
北区の部屋で販売します。

1冊 200円です。

また、北区立図書館全館で、貸出も行っております。ぜひ、お手に取ってご覧ください。



北区政策提案協働事業「映像アーカイブによる街おこし」
映像でよみがえる昭和の北区第6回上映会
「映像と写真でめぐる十条の今と昔」が
開催されました！



9月26日（土）、十条界隈のなつかしい映像を紹介する上映会が中央図書館で開催されました。

北区政策提案協働事業「映像アーカイブによる街おこし」として、協力団体の街づくり・フロンティア21と中央図書館・北区飛鳥山博物館が協働で北区の昔の映像を発掘、公開しています。

今回は、地域資料専門員の解説のほか、映像提供者のお話しも交えて、懐かしい十条の映像を上映。参加者からは、「小さい時の風景がよみがえった」「昔の様子が変わり興味深かった」「関係者の方の話が聞けてよかった」などの感想が寄せられました。

北区こぼれ話 第76回

水車のある風景 その3～ 巨大水車の補償～

慶応 3 年（1867）、甚平所持の水車場が火薬製造所御用地となると、幕府はその代地^{だいち}を願い出るよう甚平に申し渡します。そもそも江戸時代、武士は「御用」の名目で次々と百姓らから田畑を取り上げていったとお思いの方がいらっしゃるかも知れませんが・・・、「時代劇の見過ぎ」です。実際には、相応の代地を与えるか、一定の金銭をもって補償することになります。そこで甚平も幕府に代地を求めて願い出ることになりました。

最初に候補地として示されたのが、上中里御用屋敷およびその地続きである西ヶ原村御林地^{おはやしち}でした。用水堀があることから、ここに水車を架ければいいとの判断だったのでしょう。しかし、実際に見てみると水量不足のため水車を架けるには不向きな場所でした。そこで、甚平はここを「立木^{たちき}」のまま下げ渡してくれれば木を売り捌き、その代金をもって新たに水車場を見付けると願い出ます。

その後、御用屋敷の下げ渡しに難色が示されると、今度は①王子村・豊島村両村地内の石神井川沿い、②武州新座郡白子村^{にいざぐんしらこむら}（埼玉県和光市）地内の諏訪山^{すわやま}、③御府内中橋（東京都中央区）の埋立地、このいずれか一か所を御用屋敷の代わりとし、西ヶ原村御林地と合わせて代地をしたいと願い出ます。甚平は「何方相尋^{いつかたあいたすねそうろう} 候 而も一場所二而代り二相成^{さば} 候 場所無御座^{なかはし} 候」（どこを探してみても一か所で代わりになるような場所はない）と思っていたので当然の要求だったのでしょう。この段階で西ヶ原村御林地に加えて、どこを代地とするかという問題になっていたことが知られます。

結局、幕府としても適当な代地を見つけられず、金銭の補償をもってこれに代えることとし、その費用を申し出るよう甚平に申し渡します。そこで甚平は、これまでの水車経営にかかった収支や移転費用もろもろを計算し、金 9,943 両を願い出るのでした。しかもこれは、あくまでも上中里御用屋敷の代わりであり、当初の予定通り西ヶ原村御林地に加えて要求していきます。

さてこの一件、これが実際に支払われたのかどうか、はたまた、その後この水車がどうなったのか、史料が残っていないので残念ながらわかりません。それでも、滝野川村にあった水車をめぐり、甚平と幕府それぞれの思惑がからんだ複雑な展開を見せていたことは、江戸近郊という地域を考える上で非常に興味深い事例といえるでしょう。

北区で水車というと、滝野川反射炉^{はんしゃろ}の錐台水車^{きりだい}や鹿島紡績所の水車、そしてこの火薬製造所の水車など、どちらかというとも巨大な水車のイメージが強いのかも知れません。

今月の展示



テーマ：これなに？路上観察
中央図書館から十条駅まで

期間：平成27年11月27日（金）～12月28日（月）
場所：「北区の部屋」展示コーナー

路上から見える少し不思議なものを集めてみました。
図書館からの帰り、遠回りして見つけてみませんか？



十条駅前ロータリーの銅像（現在）
植え込みの上を跳び超えていくように
見えます

かつては、十条駅前にあった噴水の池の中で爽やかに飛びはねていました。（写真は昭和40年代）



北区図書館活動区民の会企画運営

小学生向けワークショップ

親子で謎解き！中央図書館ナイトツアー



日時：平成28年1月10日（日）

午後4時45分～午後7時

場所：中央図書館3階ホール

誰もいなくなった夜の図書館を大冒険。普段、
何げなく利用しているこの場所は、実は・・・。
親子で謎を解きながら歴史の核心に迫る！



対象：区内在住の小学生と保護者
（必ず保護者同伴）

定員：20組（抽選）※6年生優先

申込方法：ファクス、または往復はがきに
講座名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、
年齢、電話番号、（ファクス番号）、返信用
裏面に申込み方の住所、氏名を記入して、
12月24日（木）（必着）まで。

※ファクス申込書は各図書館にあります。
また北区ホームページでもダウンロードで
きます。

申込・問い合わせ先：中央図書館事業係
〒114-0033 北区十条台1-2-5
電話 03-5993-1125
Fax 03-5993-1044



中央図書館「北区の部屋」では、北区の歴史に
関わる古い写真を探しています！

皆さんのお宅に、北区に関する古い写真や地図・文書は眠
っていませんか？

北区の部屋では、このような資料を地域資料として収集し公
開しています。江戸・明治期はもちろん大正・昭和の写真も
大歓迎！！地域を知るための大切な資料です。ぜひご協力をお
願いします。詳しくは「北区の部屋」地域資料専門員まで
ご連絡ください。お待ちしております。



渡邊肇氏撮影
昭和30年代の桐ヶ丘団地

北区の部屋だより

第78号



2016年1月



刊行物登録番号 26-2-057

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 28 年 1 月発行

北区こぼれ話 第77回

王子電車で初詣に行こう！ —鉄道会社のお参りキャンペーン—

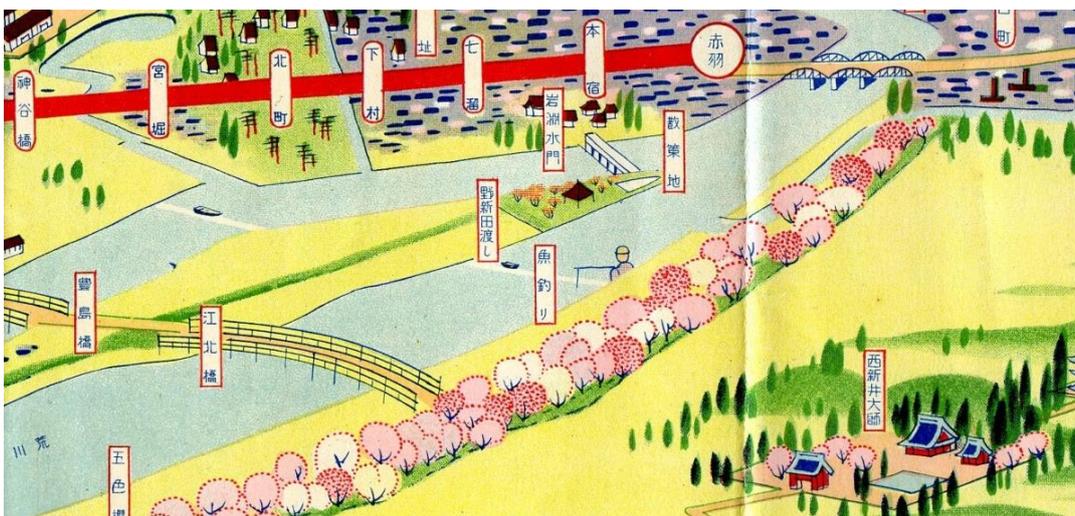
昭和 13 年（1938）元旦の『国民新聞』に「西新井大師初詣では王子電車・王電バスで」（「初詣で」は原文のまま）という見出しの記事が掲載されました。体裁は、新聞記事ですが、内容は広告そのものです。それは、王子電車（王子電気軌道、現在の都電荒川線）沿線の社寺や行楽地について紹介するというものでした。具体的には、雑司ヶ谷法明寺の鬼子母神を「有名な流行仏」とし、高岩寺のとげぬき地蔵を「信仰の厚い善男善女の参詣で賑はふ」、そして、王子権現（王子神社）は「壮麗な建築」「眺望また頗る佳い」、さらに王子稲荷を「開運、商売繁盛等の御利益」があるとし、これらを初詣にお勧めのスポットとして紹介しています。なお、荒川遊園地も紹介していますが、王子電車が自ら経営していたためでしょう。「日本の水郷ベニス」と絶賛しています。

記事の中で、最も大きなスペースを用いて紹介しているのが、西新井大師です。「西新井大師へは省線池袋駅前より王電バスを利用する。兎に角、関東に於ては川崎大師と並ぶ厄除大師として四時参詣者の跡を絶たず」とし「交通の便よく散策、遠足等にも適当なれば、御家族連れで初詣でと遊覧は、王電バスで西新井大師へ」とあります。見出しも含め、3回も王電バス（王子電気軌道の路線バス、のちに都バスへ統合）で西新井大師へ初詣に行くよう勧めています。

西新井大師への交通機関としては、すでに、昭和 6 年（1931）12 月、東武鉄道の大師線が開通していました（当時、東武には、伊勢崎線西新井駅と東上線板橋駅を結ぶ西板橋線の計画があり、大師線はその一部でした）。都心方面から西新井大師へは、浅草駅から東武線で行くルートと、池袋駅前から王電バスで行くルートの二つがあったわけです。王電としては、東武に負けじと宣伝に熱心だったのでしょう。

江戸時代、その年の恵方の社寺に参詣する「恵方詣り」というものがありましたが、恵方と関係なく遠方の大きな社寺（川崎大師・成田山新勝寺など）へ出かけるという形の「初詣」は、近代になってから鉄道会社の宣伝によりつくられたのだといえます。（平山昇『鉄道が変えた社寺参詣』交通新聞社。）。王子電車も、そのような鉄道会社の一つだったのでしょう。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】



『王子電車沿線案内』
（昭和 2 年）
に描かれた
西新井大師
（右下）

今月の展示



テーマ： 谷中七福神と北区の札所

期間：平成28年1月5日（火）～1月27日（水）

場所：「北区の部屋」展示コーナー

江戸時代、札所の巡拝は、庶民の年中行事に組まれていたものが多く、例えば、正月には七福神詣ですが、春秋の彼岸には六阿弥陀詣が行われるなど、季節ごとに各地の札所は大勢の人でにぎわいました。北区にも多くの札所があり、中でも「御府内」に位置する滝野川地域には、さまざまな巡拝霊場が所在していました。そこで今回の展示では、正月の風物詩でもある谷中七福神を中心に、北区の札所について紹介します。

今月の講演会



北区図書館活動区民の会企画運営

小学生向けワークショップ

親子で謎解き！中央図書館ナイトツアー



日時：平成28年1月10日（日）

午後4時45分～午後7時

場所：中央図書館3階ホール

誰もいなくなった夜の図書館を大冒険。普段、何げなく利用しているこの場所は、実は……。親子で謎を解きながら歴史の核心に迫る！
(募集は終わっています)



北区図書館活動区民の会地域資料部企画運営

歴史講演会

「王子稲荷ときつね」



浮世絵に描かれ、落語の題材にもなっている王子のきつね。地域に残るさまざまな伝承を交え、江戸時代の北区を紹介します。

日時：2月13日（土）午後2時～4時

場所：中央図書館 3階ホール

講師：北区文化財保護審議会会長 加藤貴氏

定員：50名（抽選。区内在住、在勤の方優先）
申込方法：往復はがきに講座名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号（ファクス番号）、（在勤の方は勤務先も明記）返信用表面には申込み方の住所、氏名を記入して

下記までお送りください。

締切：1月29日（金）（必着）

申込先：

〒114-0033 北区十条台1-2-5

北区立中央図書館 事業係

電話 03-5993-1125

ファクス 03-5993-1044



落語「王子の狐」のCD、ございます



「北区の部屋」では、北区王子が舞台となっている落語「王子の狐」のCDも、地域を理解する資料として所蔵しています。『千字寄席 晰がわかる落語笑事典』（PHP研究所、1995年）によると、原話は正徳2年（1712）刊行の笑話本「新話笑眉」中の「初心な狐」。原話は江戸のものですが、落語としては上方で磨かれ、京都を舞台として口演された「高倉狐」を三遊亭円右（初代）が東京に逆移入したものだそうです。

北区の部屋では、三遊亭圓彌（四代目）、春風亭柳枝（八代目）、金原亭馬生（十代目）の語りを収録。ストーリーは、聞いてのお楽しみ。ぜひお借りになってみてください。

※「王子の狐」収録のCDは、ほかに視聴覚コーナーのCD架にも所蔵があります。

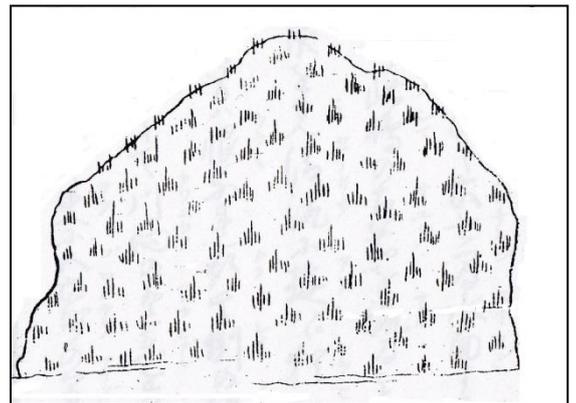


北区こぼれ話 第 78 回

豊島の大道法師（ダイダラボッチ）伝説

みなさんは「ダイダラボッチ」って聞いたことがありますか？日本各地に伝わる巨人伝説の一つで、「ダイダラボウシ」「ダイラボッチ」などともいい、特に関東地方や中部地方に広く分布しています。その多くは、山や湖沼など自然地形をつくったというもので、民俗学的には自然創造の神に対する信仰が薄れていくなかで力持ちの大男になり、地形の由来を説く伝説になっていったと考えられています（大塚民俗学会編『日本民俗事典』）。そんな巨人の伝説が、古くから北区豊島にも伝わっています。

『遊歴雑記 三編』(文化 13 年<1816>序)には、「豊島の渡し」の手前、西側の畑の中に大道法師の塚があったことを記しています。土地の人の話では、この塚は大道法師の草鞋わらじについた土砂が落ちてできたものだとされ、塚の周囲は 3間けん (約 5.4m) 余りあったといえます。実際にこの場所を訪れた作者十方庵敬順じっぽうあんけいじゆんは、塚の辺りの地名が「代田 (ダイダ)」であることから、音が似通っていることで伝わってきた伝説ではないかと推察していますが、当然のことながら確証を得るすべもなく、「怪しき巷談こうだんながら見聞せしまを記す」と、下のような挿図と一緒に記しています。こうした伝説は都内各所に伝えられており、例えば、世田谷区代田の地名もダイダラボッチに由来するといえます（竹内誠編『東京の地名由来辞典』）。豊島にあった大道法師の塚は、明治時代には崩されてしまい、現在では、その場所もわからなくなっていました。



今、私たちが昔ばなしや伝説と聞くと、何か遠い地方や田舎のお話だと思いがちですが、現在の北区にも様々な話が伝わっています。そして、伝説に関していえば、それが事実かどうかは別として、そうした話が伝わっていること自体が、地域の歴史を考える上でとても重要なのです。みなさんが住んでいる地域にどんな伝説が残っているのか、調べてみるのも面白いと思いますよ。

「豊島村大道法師の塚」(『遊歴雑記』)に描かれている塚の挿図

今月の展示



テーマ：これなに？路上観察2
—中央図書館から王子駅まで—

期間：平成28年1月29日（金）～2月24日（水）
場所：「北区の部屋」展示コーナー

路上などから見える少し不思議なものを集めてみました。
図書館からの帰り道、遠回りして見つけてみませんか？



北とぴあ展望室
から見た新幹線

変圧所の遺構



おやはしら
三本杉橋の親柱

今月の講演会



～北区図書館活動区民の会地域資料部会企画運営～

歴史講演会
「王子稻荷ときつね」



日時：2月13日（土）午後2時～4時

場所：中央図書館 3階ホール

講師：北区文化財保護審議会会長 かとうたかし 加藤貴氏

※今回の応募は1/29で締め切りました。中央図書館では、北区図書館活動区民の会地域資料部企画運営による歴史講演会を年に2回開催しています。

北区ニュース等でお知らせしていますので、次回、ぜひご応募ください。

北区の写真を探しています！

昭和30年、40年代の駅や商店街の様子など北区内の懐かしい
写真が皆さんのお宅に眠っていませんか？

古い写真は当時の北区を知るための大切な資料です。ご協力していただける方は「北区の部屋」地域資料専門員までご連絡ください。

「赤羽駅西口の再開発前の様子を知りたい」「〇〇の40年くらい前の写真ありませんか？」等、数多くのレファレンスが北区の部屋に寄せられています。北区の部屋では、このような古い写真を地域資料として収集し公開しています。

昭和の写真だけでなく
平成初めの写真も
お待ちしております

北区の部屋だより

第80号

2016年3月



刊行物登録番号 26-2-057

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 28 年 3 月発行

北区こぼれ話 第79回

昭和 29 年の空襲警報吹鳴試験 —朝鮮戦争と北区—

「昭和 29 年の空襲警報…」などと書くと「戦争は昭和 20 年に終わりましたよ」と言われそうです。しかし、つぎに引用する昭和 29 年（1954）12 月 22 日付けの『読売新聞』の記事をご覧ください。

「あす空襲警報吹鳴試験 元陸軍第一東京造兵廠跡（北区赤羽町）に駐留している米軍では二十三日午前十一時四十分空襲警報用サイレンの吹鳴試験を実施する。このサイレンは北区全域と、吹鳴地点を中心とした二キロぐらいの地点まで聞こえるから間違えないようにと米軍では注意している」（原文のまま）。

この記事には、不正確なところがあります。東京第一陸軍造兵廠跡の米軍施設は、当時の赤羽町ではなく、下十条町にありました。現在の自衛隊十条駐屯地や中央図書館の場所です。逆に、赤羽町という表現が正しいとすれば、陸軍兵器補給廠跡や陸軍被服本廠跡の米軍施設がそれに該当します。陸軍兵器補給廠跡は、現在の赤羽自然観察公園や様々なスポーツ施設などになっています。また、陸軍被服本廠の跡は、現在、赤羽台団地になっています。いずれにせよ、十条から赤羽の台地上にかけて、米軍の TOD（TOKYO ORDNANCE DEPOT、東京兵器補給廠）がありました。北区は、米軍施設のある街だったのです。

なお、区内で米軍が空襲警報の吹鳴試験をしていたのは本当でしょう。あまり知られていませんが、戦後の日本でも、空襲警報は発令されているからです。

昭和 25 年（1950）6 月、朝鮮戦争が勃発しました。当時、日本は連合軍の統治下にあり、日本各地の港から、米軍が朝鮮半島へ出撃していきました。このあたりのことは、若い世代でも、スタジオジブリのアニメ「コクリコ坂から」に、主人公の父親（輸送艦の日本人船員）が亡くなった理由として描かれていましたから、知っている方も多いでしょう。そうした中で、九州の佐世保では空襲警報が発令されました。九州北部の複数の都市でも、警戒警報が発令されています（『佐世保市史』軍港編、下）。関東地方では、空襲への対策として、横浜港周辺の公園が、米軍に接收され高射砲陣地となりました（『横浜市史Ⅱ』第二巻、上）。

北区にあった TOD は、米軍の戦車や機関銃等の修理などを担っていた大工場群で、朝鮮戦争の時期にはフル稼働していました（『北区史』通史編、近現代）。38 度線の板門店で休戦協定が締結されたのが、昭和 28 年 7 月のことです。その翌年に、北区の米軍施設で空襲警報の吹鳴試験があっても何ら不思議ではありません。



【写真】被服本廠跡の TOD にあった米軍の戦車（渡辺昭氏提供）

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】

今月の展示



北区図書館活動区民の会・地域資料部企画運営

テーマ： 王子稲荷ときつね

期間：平成28年2月26日（金）～3月30日（水）

場所：「北区の部屋」展示コーナー

今回の展示は、2月13日に地域資料部企画運営で行われた歴史講演会「王子稲荷ときつね」の関連展示です。

講師の加藤貴氏（北区文化財保護審議会会長）のお話しをもとに、地元王子に残るさまざまな伝承を交え江戸時代の王子稲荷について紹介します。



今月の講演会

公開歴史講座

帳箱の中の文書たち

しもごうにじゅうさんかむらようすいくみあいねんばんぼこ
一郷二十三ヶ村用水組合年番箱の記録一



石神井川の下郷二十三ヶ村組合で管理していた用水の維持・管理に関わる文書を中心に、江戸時代の文書管理についてお話しします。

日時：3月12日（土）午後2時～4時

場所：中央図書館 3階ホール

講師：保垣孝幸ほがきたかゆき地域資料専門員

（※申込は3月1日で終了しています。）

北区が登場する本を教えてください！



北区立図書館では、利用者みなさんにご協力いただき、「北区が登場する本のリスト」を作成し各図書館やホームページで公開しています。また、該当する本には、北区コミュニケーションマーク（さくらマーク）を背表紙に貼ってわかるようにしています。

「読んでいた本の舞台が滝野川だった！」「岩淵水門の話が出ている」など、本の一部に北区が登場していたら、ぜひ教えてください。各図書館カウンター等に「北区が載っている本を教えてください」カードをご用意しています。必要事項をお書きいただき、カウンターにお出しください。また、さくらマークのついている本のどこかには「北区」が登場します。それを見つけるのも楽しみにしていただけたら嬉しいです。

北区が載っている本を教えてください	
	北区立図書館では、図書館内備え置き「北区が登場する本のリスト」のファイルに載っていない本の情報を募集しています。以下をご記入の上、図書館カウンターにお持ちください。
著者名：	
書名：	
出版社：	
北区が載っているページと地名（例/P122飛鳥山公園 P34～36王子権現）	

ご協力ありがとうございました

以下は図書館スタッフが記入

受付：（ ）図書館 受付日： 年 月 日/担当（ ）

書誌番号（ ） コピー添付（ 可、不可 ）

ご協力よろしく
お願いいたします！



「北区」が登場する本のリストは、北区の部屋でご覧いただけます。また北区役所ホームページ・図書館の「北区の部屋」の項目にも掲載しています。